



ほかにはない  
アンサーを。

# オリックス株式会社

## 2020年3月期第2四半期 決算ハイライト

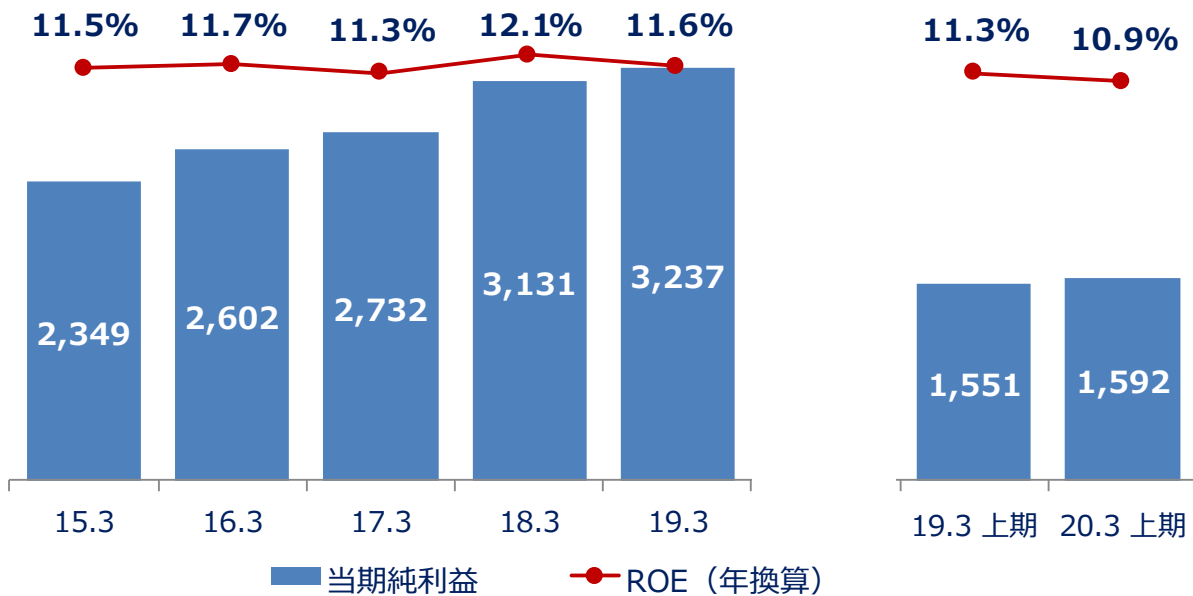
2019年10月28日

# 業績総括 (1) 当期純利益 / ROE

✓ 当期純利益は1,592億円（前年同期比2.6%増）、ROE（年換算）は10.9%

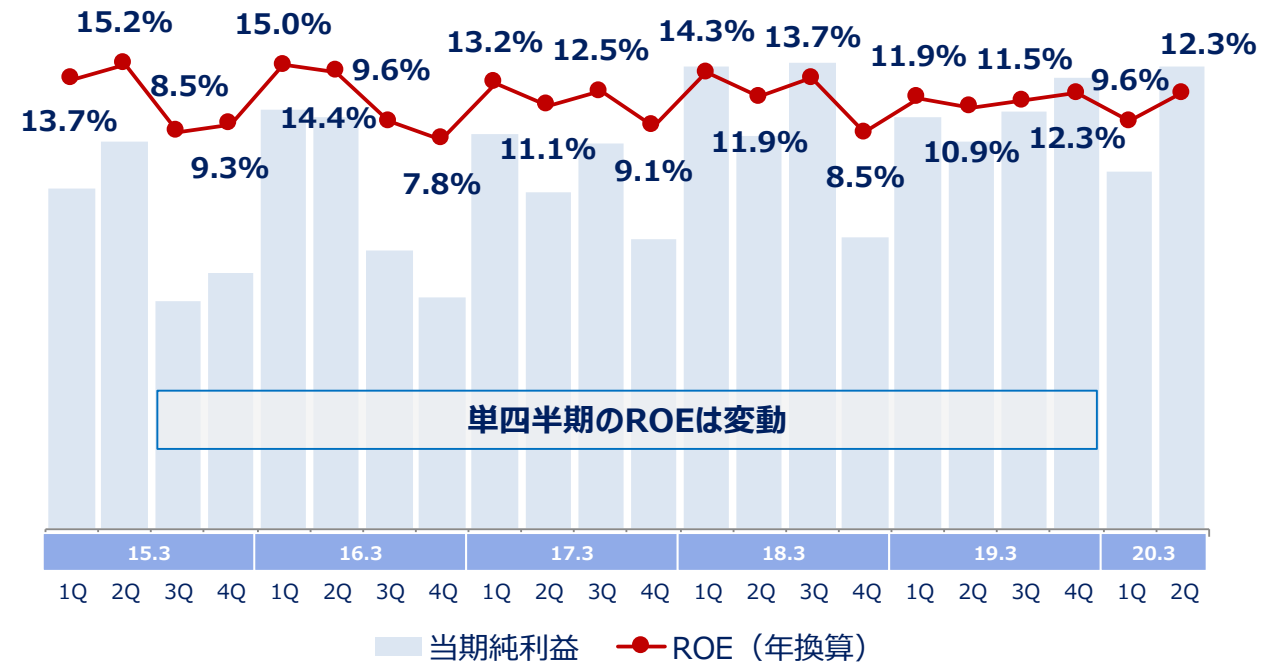
当期純利益※とROE

(億円)



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

ご参考:過去の四半期ROE

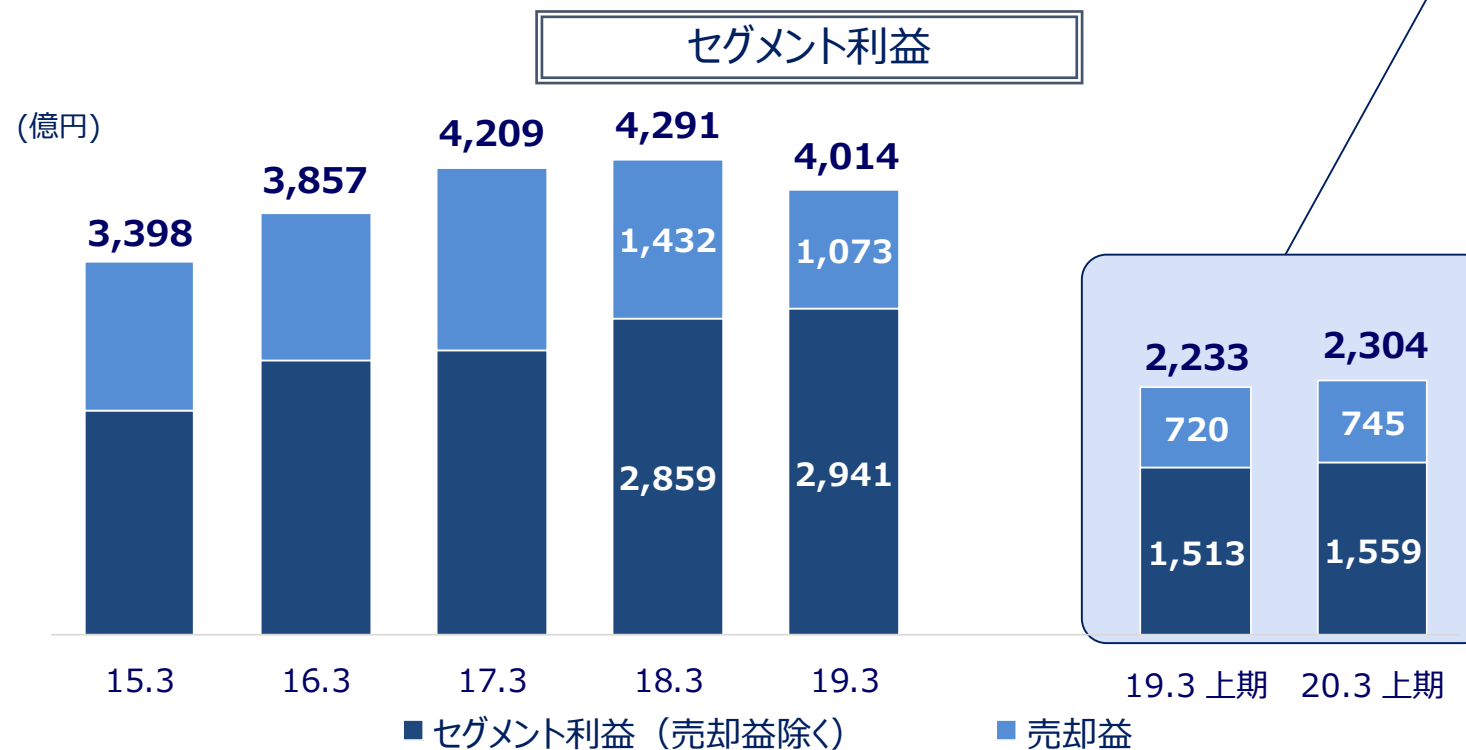


単四半期のROEは変動

# 業績総括（2）セグメント利益の内訳

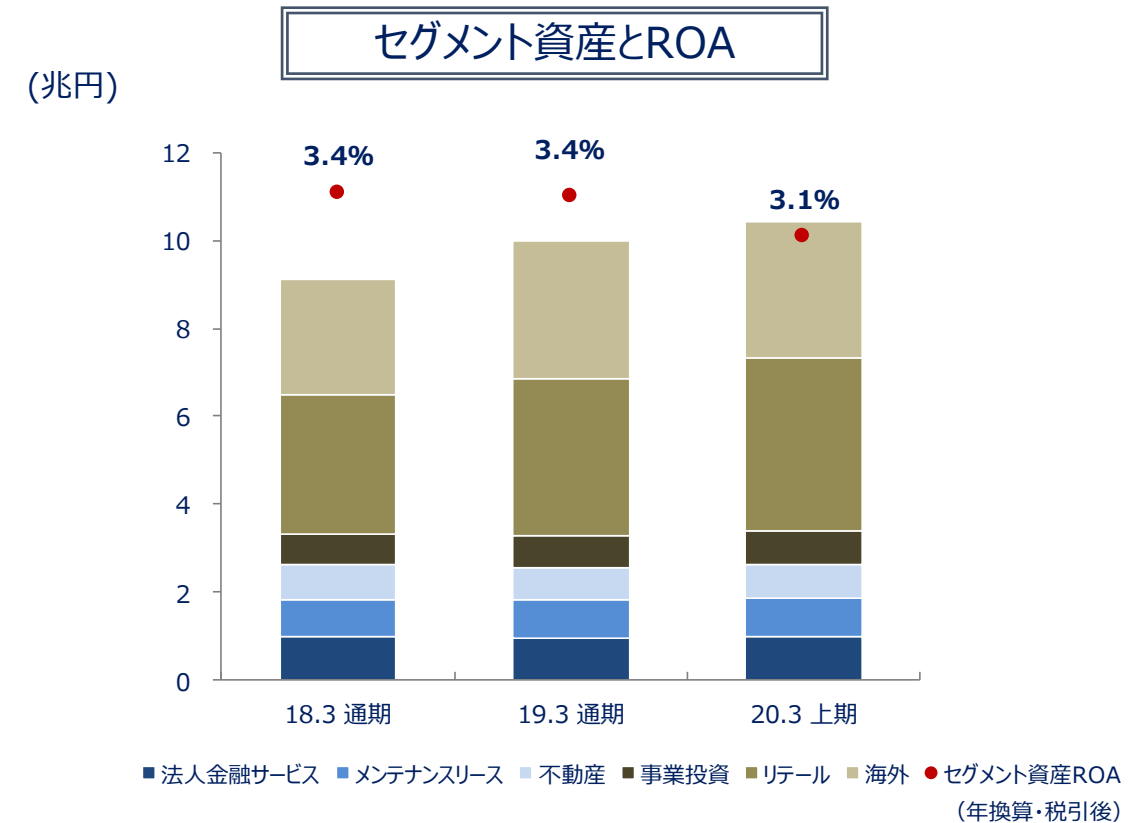
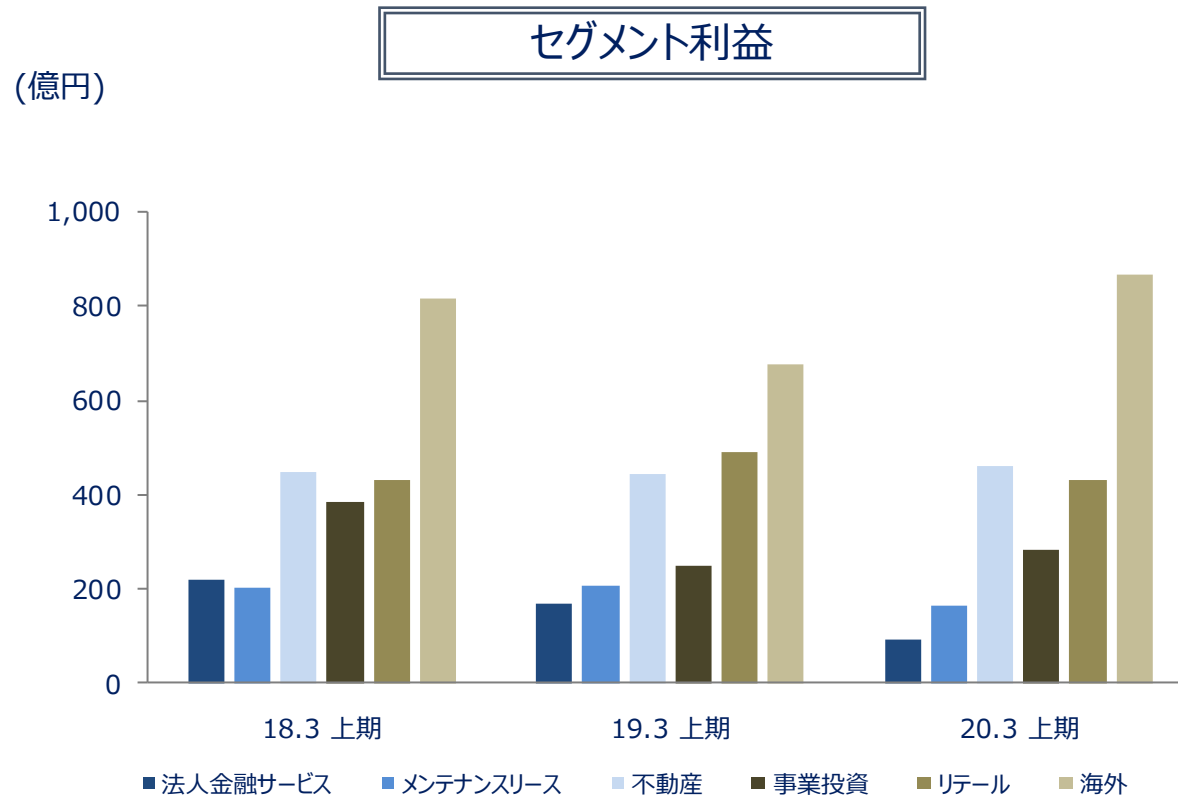
20.3期 上期 セグメント利益 <b>2,304億円</b> 前年同期比+3% (+71億円)	うち 売却益除く	1,559億円 前年同期比+3% (+46億円) 減益セグメントもあるが、新規M&Aの貢献(NXT, Avolon) もあり、前年を上回る水準を確保
	うち 売却益	745億円 前年同期比+4% (+25億円) オリックス・リビングの売却益に加え、Houlihan Lokey社の全株売却も完了

※主な売却益：賃貸不動産売却益、子会社・関連会社株式売却益、有価証券売却益など



# 業績総括 (3) セグメント利益 / セグメント資産

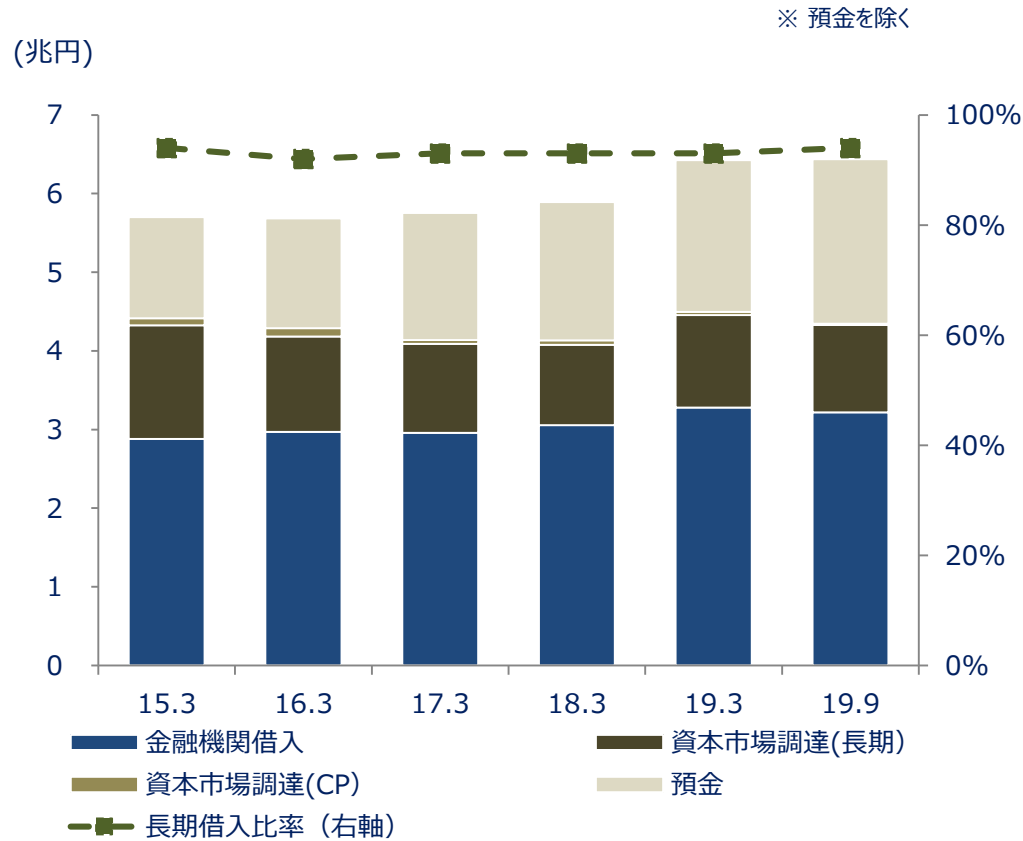
- ✓ セグメント利益：2,304億円  
前年同期比で、「不動産」「事業投資」「海外」が増益、「法人金融サービス」「メンテナンスリース」「リテール」が減益
- ✓ セグメント資産：10.4兆円 前期末比+4% (前期末比+4,350億円) \*新リース会計基準の影響約+2,000億円含む



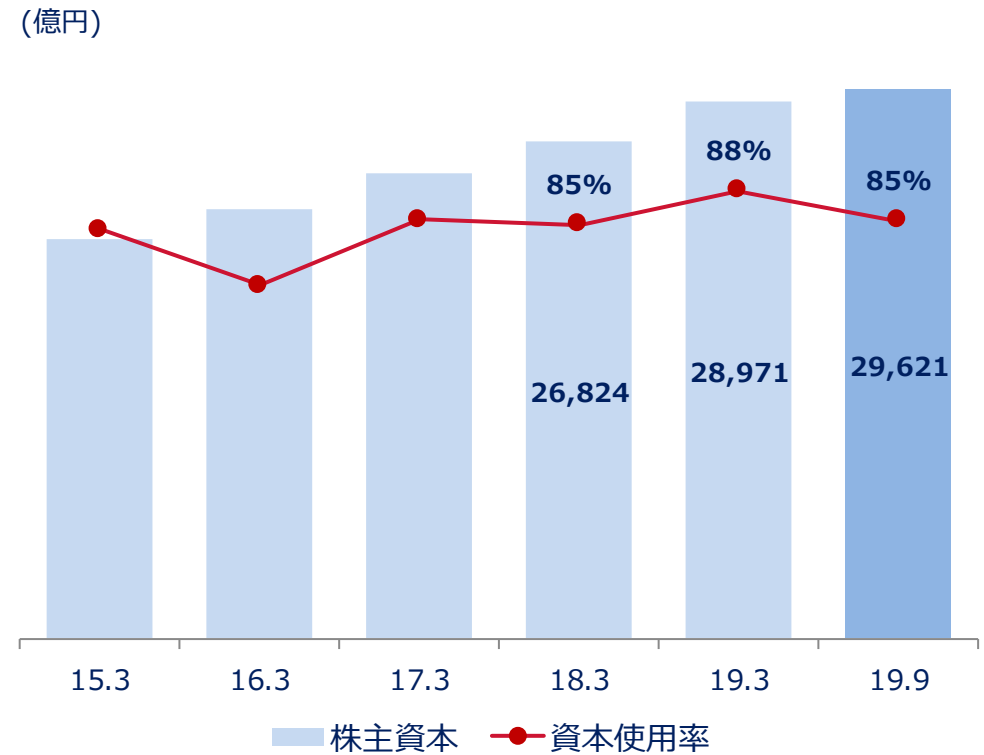
# 業績総括 (4) 資金調達構造 / 株主資本使用率

- ✓ 資金調達構造 : 資金調達手法を多様化、高い長期借入比率を維持
- ✓ 株主資本使用率 : 引き続き、リスク/リターンをコントロールしつつ成長を目指す

調達構造・長期借入比率 (※)



株主資本/資本使用率



# セグメント実績

# セグメント別業績（1）法人金融サービス

※1億円未満を四捨五入して表示しているため、各ビジネスユニットの合計値は、必ずしもセグメント数値とは合致しません



**セグメント利益：92億円**

前年同期比 ▲76億円（▲45%）

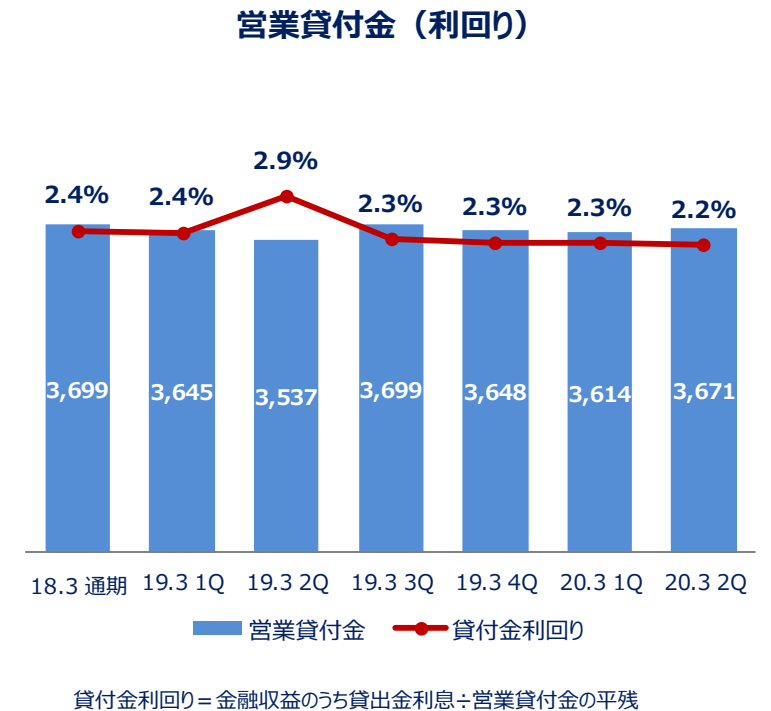
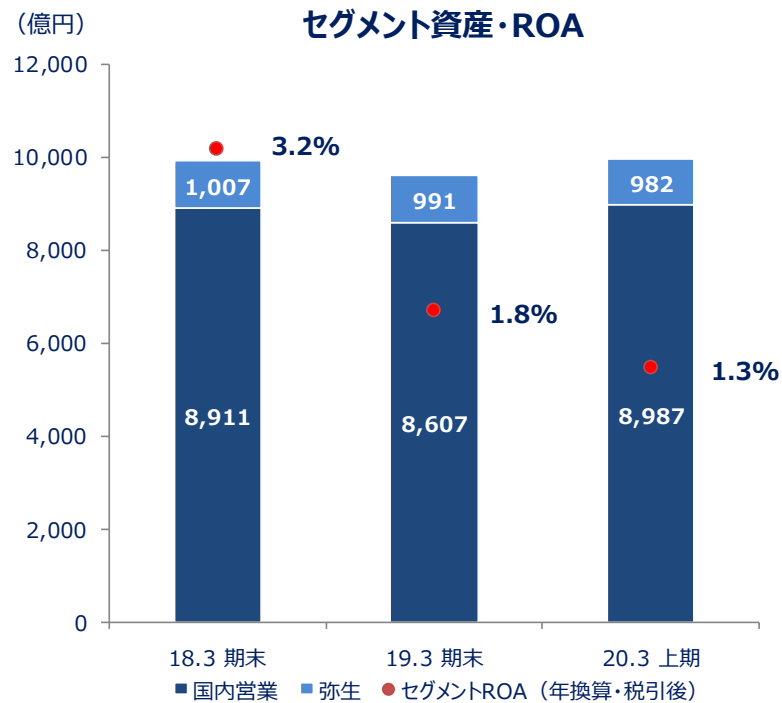
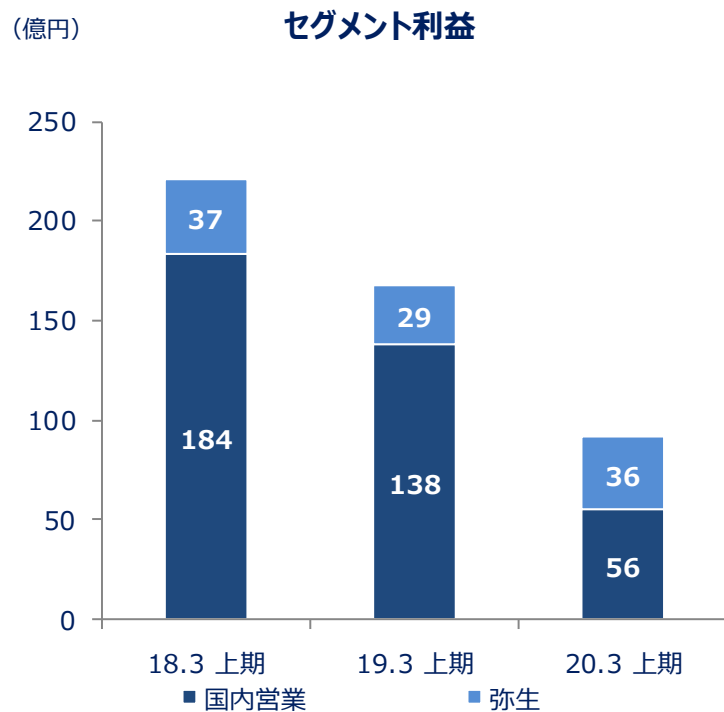
- ✓ 生命保険の代理店手数料収益減少、営業貸付金利回りは維持
- ✓ 弥生は有償サポート会員増とパッケージ製品の売上増加

【会計基準変更による影響：IDC（初期直接費用）▲9億円】

**セグメント資産：9,970億円**

前期末比 +372億円（+4%）

- ✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リースが増加（+568億円）



## 事業の近況

- ✓ 事業承継課題を有する中堅中小企業に対し、金融ノウハウや営業ネットワークなどを活用した事業投資を積極推進
- ✓ 低スプレッドでのアセット積み上げには慎重に対応する一方で、サービス収入の源泉の多様化を図る

# セグメント別業績（２）メンテナンスリース

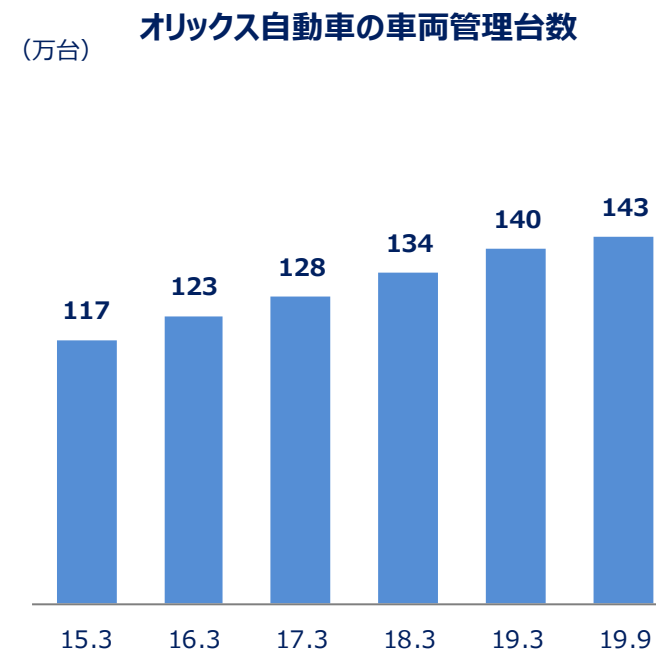
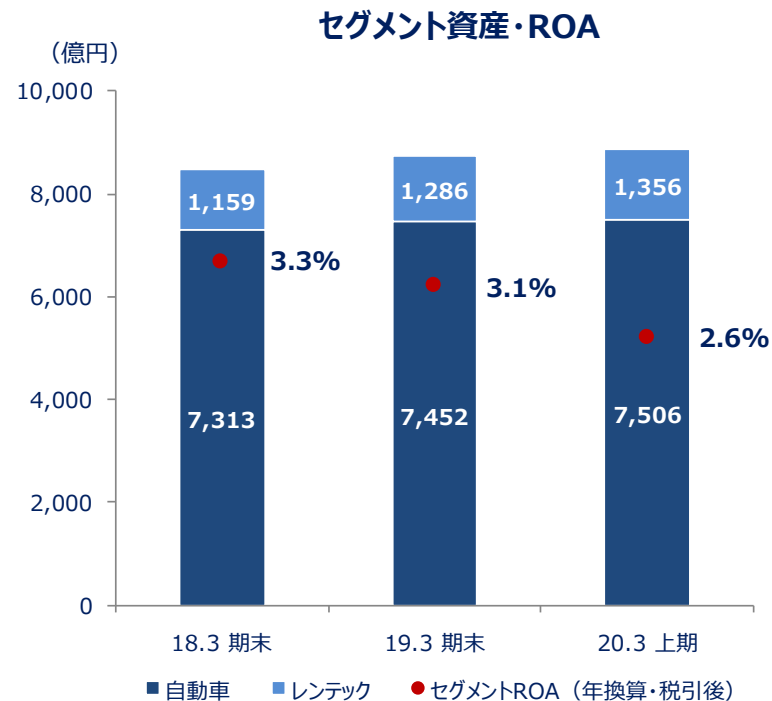
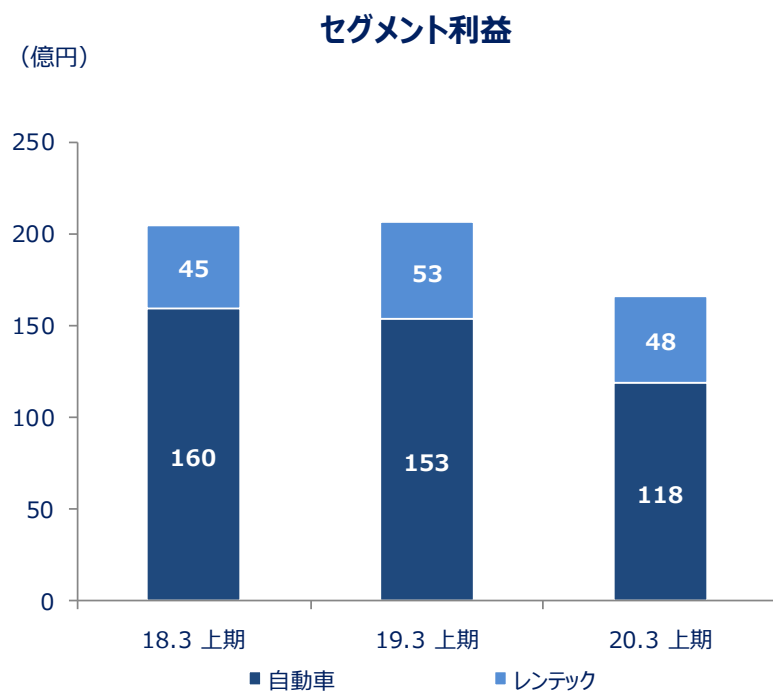
**セグメント利益：166億円** 前年同期比 ▲40億円（▲19%）

✓ 自動車・レンタックともに増収。サービス向上に向けた販管費の増加等により減益

【会計基準変更による影響：IDC（初期直接費用）▲13億円】

**セグメント資産：8,863億円** 前期末比 +125億円（+1%）

✓ 前期末比横ばい



## 事業の近況

- ✓ レンタカー事業と連携しカーシェアリング事業を全国へ拡大。鉄道会社などと提携しMaaS（Mobility as a Service）を推進
- ✓ 買収した淀川変圧器（受変電・発電設備レンタル会社）の事業拡大や、協働ロボット・ドローンなどレンタル商品のラインアップを拡大



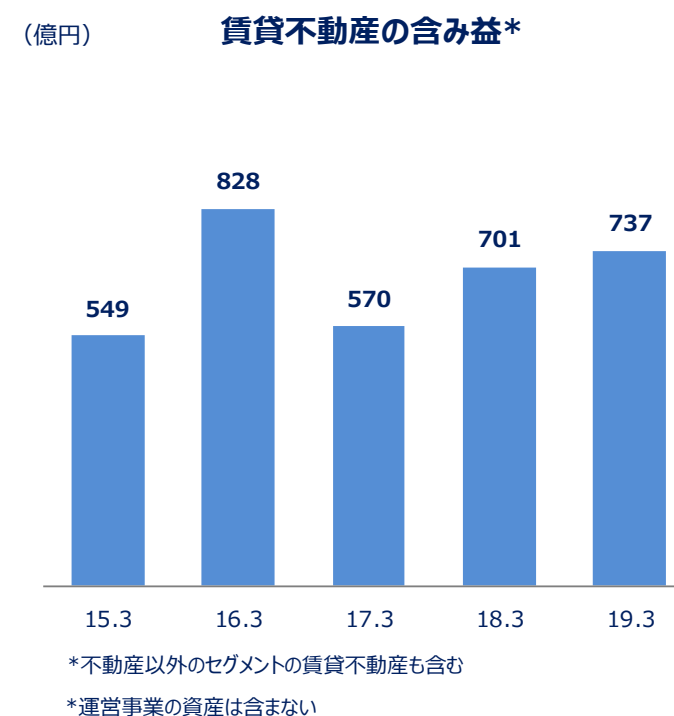
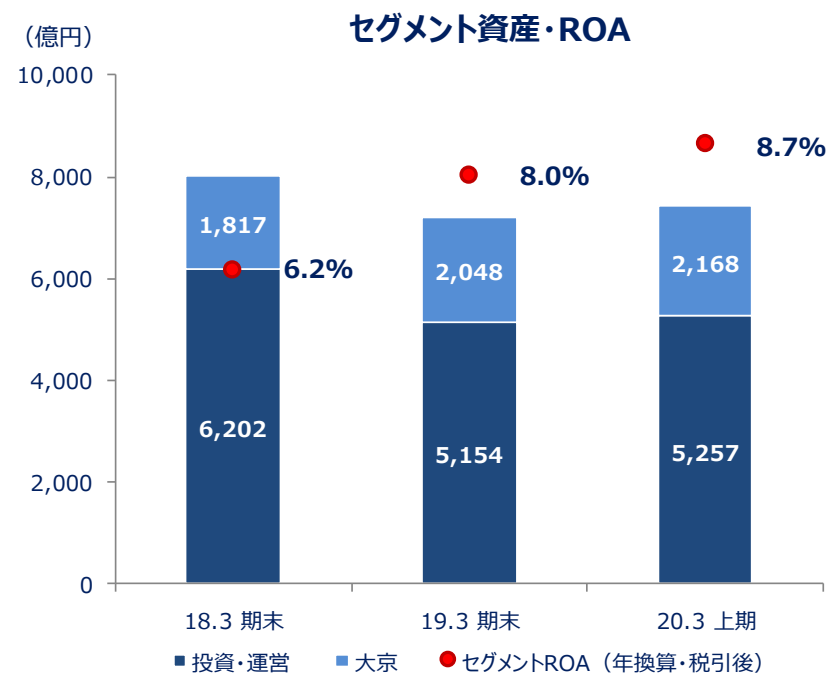
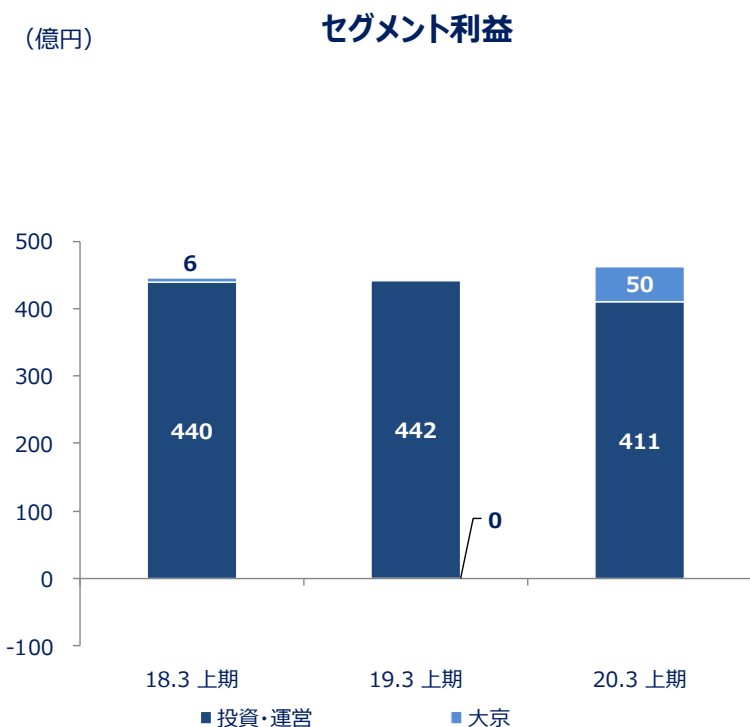
# セグメント別業績（3）不動産

**セグメント利益：462億円** 前年同期比 +20億円（+5%）

- ✓ オリックス・リビングなどの売却益を計上
- ✓ 不動産アセットマネジメントからの利益は安定的に推移

**セグメント資産：7,424億円** 前期末比 +222億円（+3%）

- ✓ 売却により資産は減少するものの、新規投資も継続
- ✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リース資産が増加（+893億円）



## 事業の近況

- ✓ 「別府温泉 杉乃井ホテル」リニューアル着工(2025年完了予定)、大阪うめきた2期(2024年概成)などの大規模プロジェクトを推進
- ✓ 2019年に完全子会社化した大京との一体経営に向け、「開発」「流通」「管理・工事」の各機能におけるリソース・ノウハウ共有を進める

# セグメント別業績（４）事業投資

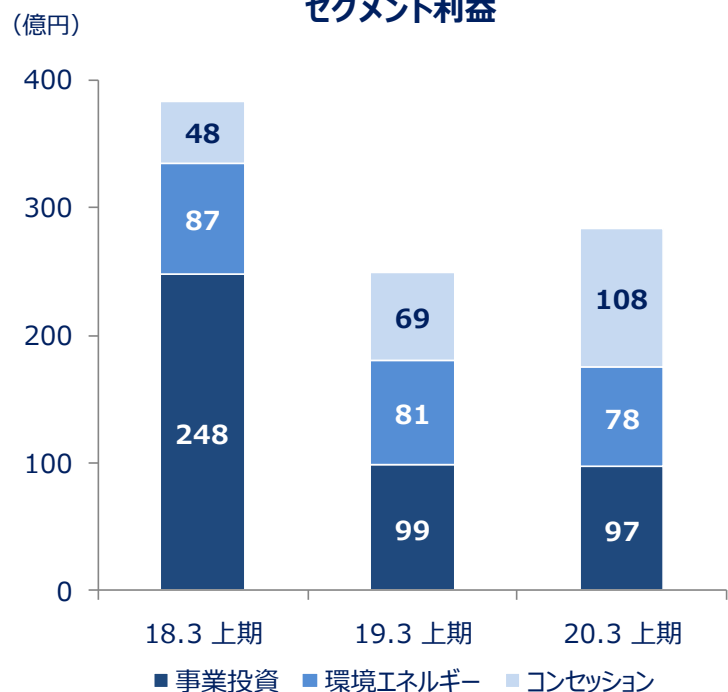
**セグメント利益：284億円** 前年同期比 +35億円（+14%）

- ✓ PE投資は第1四半期に売却益を計上
- ✓ コンセッションは訪日観光客増加により増益

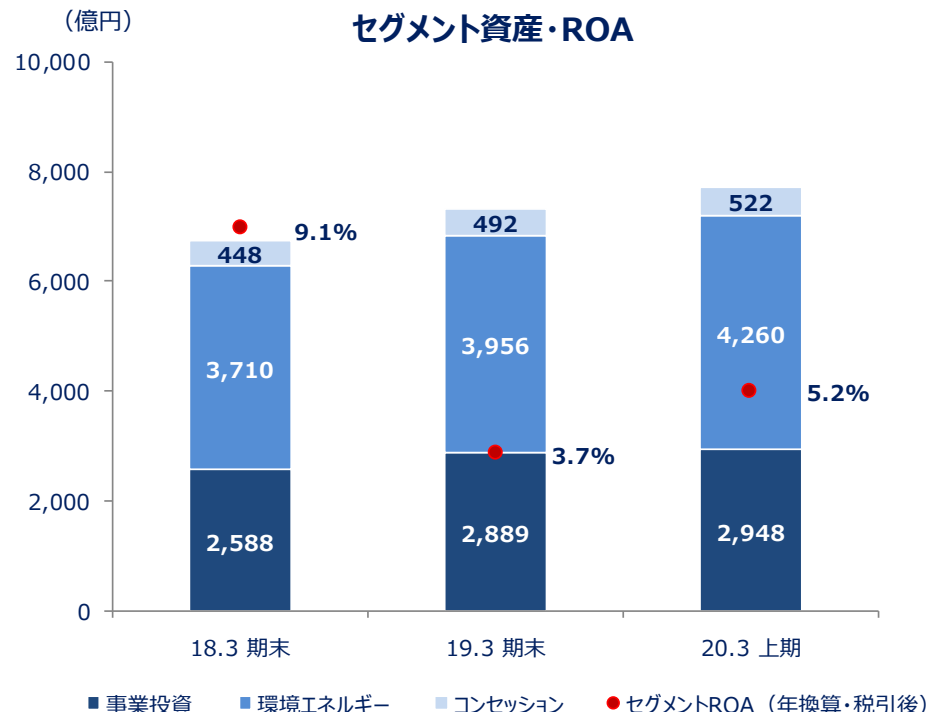
**セグメント資産：7,730億円** 前期末比 +394億円（+5%）

- ✓ 物流機器専門の販売・レンタル大手「ワコーパレット」へ出資
- ✓ 新リース会計基準により環境エネルギー関連の事業資産が増加（+398億円）

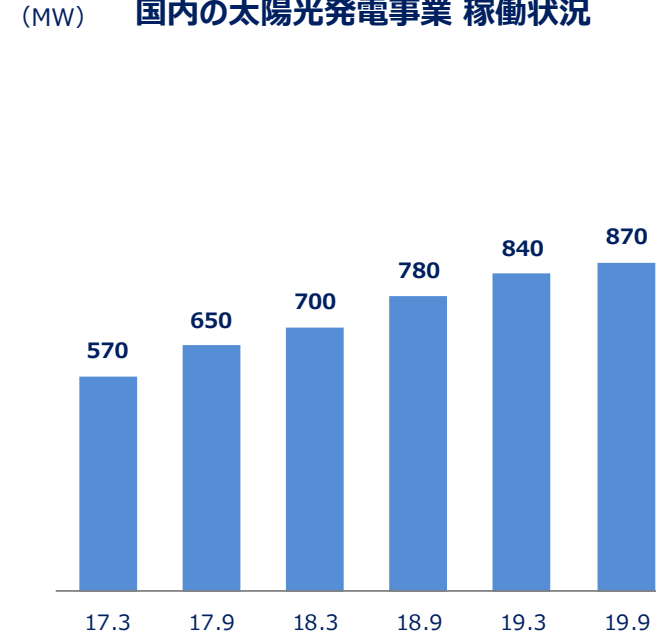
セグメント利益



セグメント資産・ROA



国内の太陽光発電事業 稼働状況



## 事業の近況

- ✓ 国内の太陽光発電事業は順調に稼働（19.9末時点で1GW確保）、地熱発電事業（南茅部）に着手し、風力発電も推進中
- ✓ PE投資は過去5年で1,000億円以上の投資利益を創出、長期的な戦略投資も視野にいれ投資先を発掘する

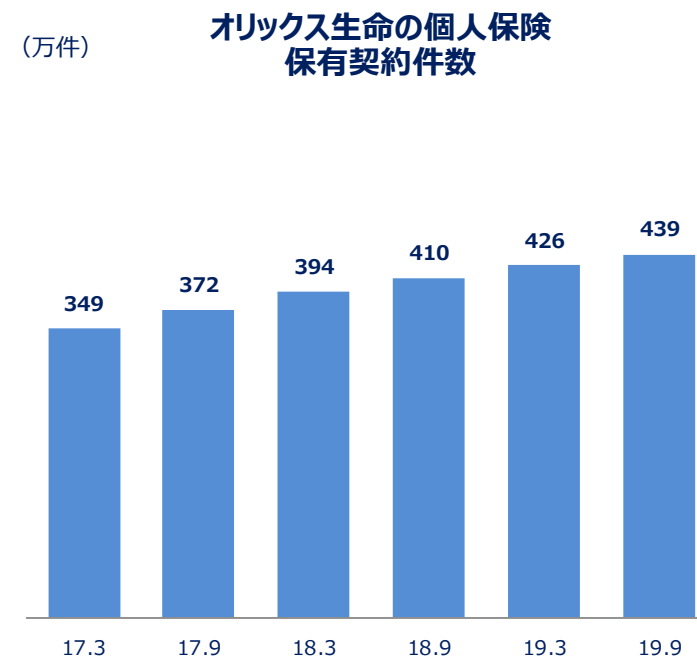
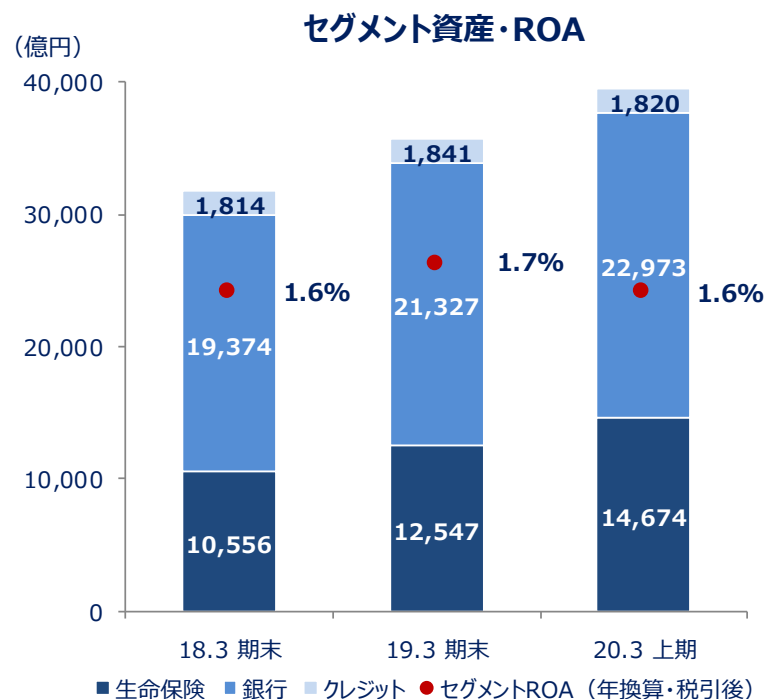
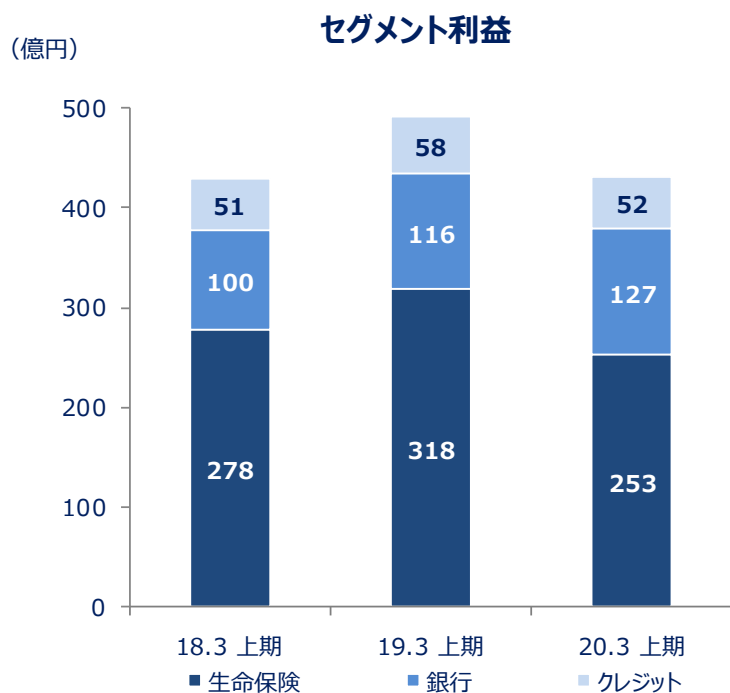
# セグメント別業績（5）リテール

**セグメント利益：432億円** 前年同期比 ▲60億円（▲12%）

✓ 生命保険は契約の増加に伴い保険料収入が伸長。前期売却益の反動や販管費の増加により減益

**セグメント資産：39,467億円** 前期末比 +3,753億円（+11%）

✓ 生命保険の投資有価証券、銀行の営業貸付金が増加



## 事業の近況

- ✓ 生命保険は、「外貨建終身保険」や「引受基準緩和型保険」など商品ラインアップを拡充
- ✓ 銀行は高い預貸率を維持、資金粗利ざやも2%水準で推移

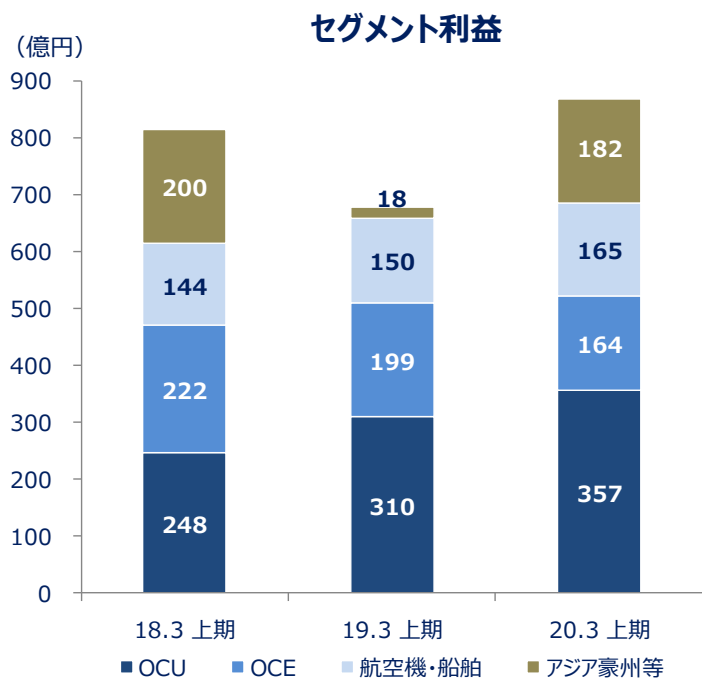
# セグメント別業績（6）海外

**セグメント利益：869億円** 前年同期比 +191億円（+28%）

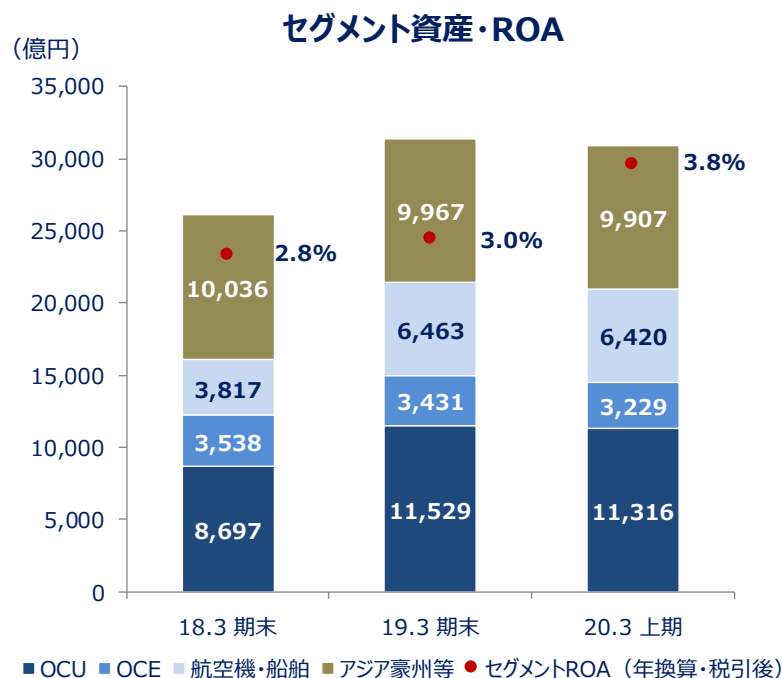
- ✓ 19.3期の新規投資が利益に貢献、第1四半期にアジアで売却益計上
- ✓ 為替影響▲20億円

**セグメント資産：30,873億円** 前期末比 ▲516億円（▲2%）

- ✓ 為替影響▲1,168億円を除くと、前期末比+651億円



OCU: ORIX Corporation USA  
OCE: ORIX Corporation Europe



## 新規投資による利益貢献

19.3期 大型投資案件	20.3期 上期 セグメント利益
NXT Capital (ローン組成・資産運用)	54億円
Avolon (航空機リース)	57億円

## 事業の近況

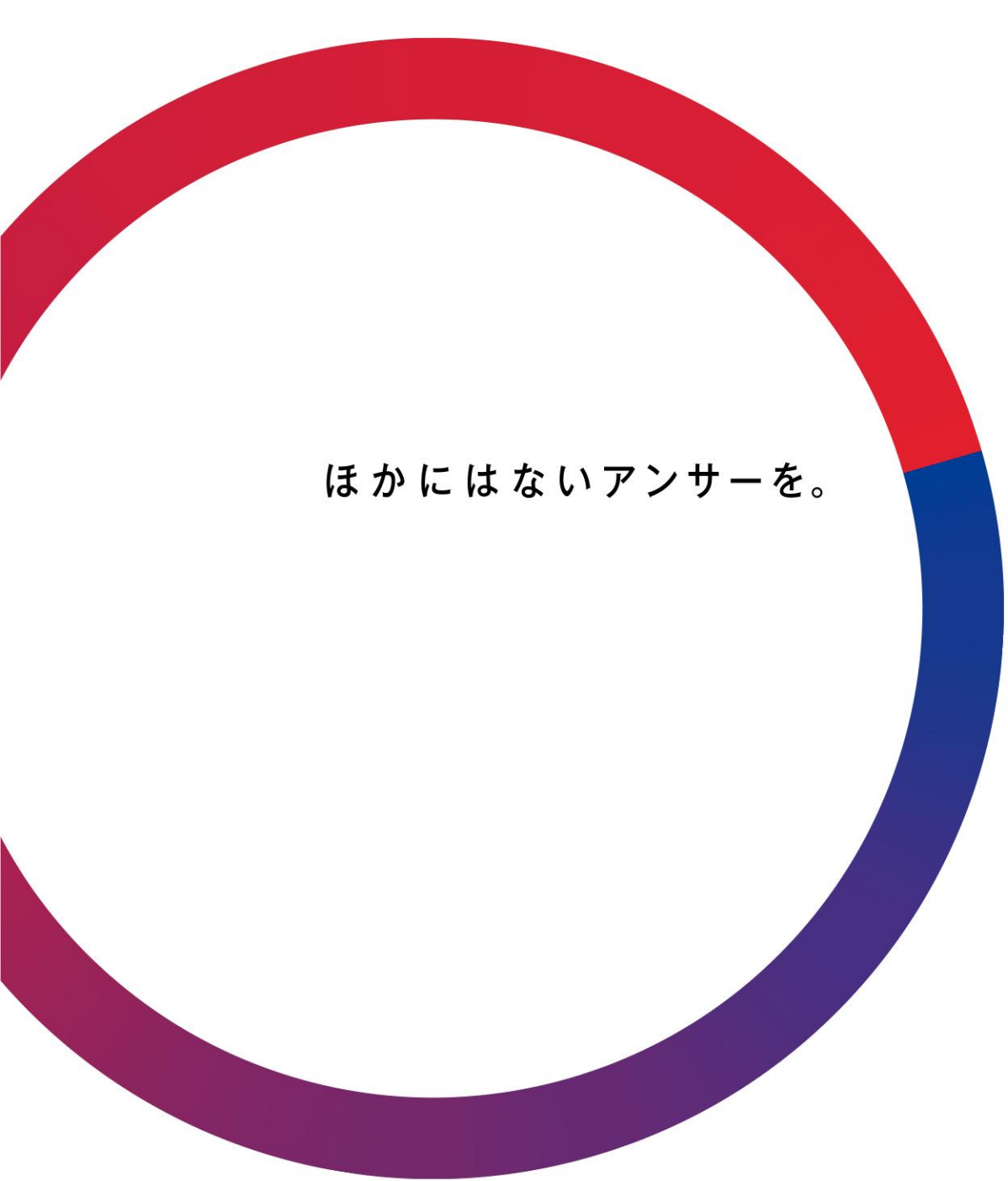
- ✓ 引き続き欧米におけるローン・アセットマネジメント事業の多面的な展開を図る
- ✓ Avolonとのシナジーを追求し、航空機リース事業のスケールアップとプレゼンスのさらなる向上を図る

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみにより全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。



ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

IR資料室

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/>

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154